

刊夕日五廿月十



定額一圓五角... 發行所 常新日新報社... 電話 六二〇〇

福音の真髓

中村月城

基督教は危険視されるそれは國家主義者や軍國主義者からのみではない眞面目な修養に志せる人道徳力行に眞剣なる人々から時によると頗る危険視されるのである。

それは道徳を無視し、修養を無用なるかに思はしむる節を多分に有つてゐるからである。基督教は徹底的に行ひのみによつて救はれぬことを高調する。たゞ救はるゝは信仰のみに限ると強調する。眞にその通りであるそれが基督教である。

基督教の神は單に修養し單に道徳力行にのみ心を傾けてゐる者を決して喜ばれない。何を御喜びになるのである。神を信じて神によつて道を行ひ神によつて努力してゆく者を御よろこびになるのである。

ある。然しこれが神の聖旨である。我々が理屈を以て何うの斯うのといへるものではない。我々から見ると如何にも理不盡である。然し神に於いてはさうでない神は愛である神は神の愛故に斯くし給ふのである。

之が力なき働なき敬虔なき、者にとつて云ひ得ぬ恩寵である。意外の事である。天よりの福音である。之が父なる神の聖旨であるときいて感激なきを得ない唯驚いて聖旨を受け、この聖旨に従ふのみである。

修養につかれ、道徳に望みなき努力を續け、自らの弱さと罪深さに歎き、自らの愚さと穢れとに悲しみあぐみ居る我々にとつて、この天來の聲神は働くことなくとも、敬虔ならぬ考へを義とし給ふときいて、こ

ノート

寝る前コップが洗面器に水をを入れて置くことと空氣中の塵芥を吸取り室内衛生によし

こゝにある。道徳家の或者はこれを横着と考へやう。然し神はこの信仰を喜し給ふのであるこれを最大の喜びとなし給ふのである。眞實の道徳はこゝからのみ生れる先づ此の信仰なくしては一切の道徳も賽の河原の業に過ぎないのである。こ

【朝】卯の花あへーねぎ あさり または 人參、卯の花あへー

【晝】五もくオムレツー牛 肉、じやが芋、人參 玉ねぎ

【晚】すのものーいか、キャベツ 三杯酢

れが宗教の極致であり基督教の眞髓である仰で先づこの恩寵の神にひたすら讚美を獻げん哉。然る後信仰によつて絶對に聖旨の示し給ふところにて服従し實行せん哉

【白】昨日より引續き凶事の來る事多ければ水火の難と公事に注意南北凶【二】病氣怪俄紛失盜難に注意を要する日未申丑寅凶【三】碧金錢問題より家内に風波の起る事あれは萬事に注意東

かの凶日なれば退き守るに吉なり【六】金談縁談取引の約束事は凶なり後日破れを生ず成亥と辰己か凶【七】赤金談縁談普請の計果あるも約束事は凶なれば明日か吉東西凶【八】病氣怪俄盜難紛失に注意の日未申丑寅凶【九】紫外見良く内心に苦勞の生ずる件あれば公事及水火の難に注意

夏から秋・冬へ!!!

「衣裳御着替」 特に勉強致します

旭屋 一六銀行 平三丁目 電話四二五番

耳鼻咽喉科専門

鈴木 正男 醫學士 鈴木 正男 平町田町(電話五八番) 藤田女學校前

自炊のお需めに應ず 入院の便あり

体温計の検査日です

10日 検査機新 お宅の體溫計は? ◎正確な体温計を御使用下さい ◎毎月十日の検査日御利用下さい

西村屋藥局 電 三番

度量衡 指定販賣人

吉田眼科病院 平町屋町、電話六八番

貸切の●●●

御用命は!!! (獅子吼) 四四九ノ勢デ 眞先ニ... (マツサキ) 三九二タクシーへ!!!

中村齒科醫院

平町 鍛冶町 七

質物一般 夜九時迄出し入れ致します

三井質店

平四(電話六〇六番)

乞御期待 近日上映

非常時全日本國民に捧ぐ!! 感激篇來る オールトーキー史上初での光榮に浴す 賜天覽 台覽 文部省御推薦の光榮

楠公父子

早川 雪洲 澤村昌之 主演 池田富保監督 渡邊霞亭 巨作

各地切封 大津一大津座 内郷一磐城劇場 高萩一開明座 平一聚樂館 磯原一公開堂 四倉一四倉座 湯本一湯本座 浪江一浪江座 小名一磐城座 鹿島一鹿島座 江名一江樂館

大森發聲映畫社超特作常磐の映畫殿堂磐城劇場提供

炭礦赤化大陰謀

平署がその正體を暴露し 一味を徹底的に大檢舉!

全協日鑛常警炭礦労働組合壊滅す 召喚されたる關係者實に九十六名

本日(午後)記事解禁さる

五名の主要人物

常警各炭礦地に全協日本鑛山労働組合本部と聯絡ある労働組合を組織し一舉にして是れを赤化し大ストライキを決定せんとする潜伏運動が遂に平署の探知する處となり本年五月十日より大々的檢舉が開始され關係召喚者九十六名の多きに及び署内は連日是等留置者に依つて壽司詰めとなり開署以來の大難路を呈し新聞記事は一切掲載を禁止中であつたが此程事件漸く一段落を告げ主要人物として左記五名の内星野、佐藤、大井川の三名は既に治安維持法違反事件として福島地方裁判所検事局に送致せられ小川、市村の兩名も略その取調を終了せるものゝ如く近く送檢せらるる模様で新聞記事は本日午後五時解禁された

本籍 千葉縣山武郡千代田村山田一六七五

全協、日鑛、常炭オルグ

磐城炭鑛第三斜坑鑛業事務所

古河鑛業好問礦オルグ

小川

治雄

昭和二年三月水戸高校卒同年四月東大經濟學部入

學昭和三年五月治維法違犯警視廳に檢舉第一審懲

役三年控訴中昭和七年三月十四日釋放所同年十

一月常炭オルグとして縣下に潜入

本籍 新潟縣長岡市表町一丁目三四一

全協、日鑛常炭入山分會オルグ

星野

當二十五年

昭和四年三月長岡高工應用化學科卒同年四月新潟

縣新津製油所技師見習就職昭和五年二月仙臺工兵

第二大隊に幹部候補生として入隊同年十一月工兵軍曹となり除隊 除隊後上京同年十二月猪俣津南雄宅に寄食マルクス主義研究昭和六年四月猪俣の紹介にて山口縣徳山町に至り守田道輔と共に實踐に従事同年七月守田の指導下竹地定夫と共に福岡縣下筑豊炭田に潜入全協組織運動を起す昭和七年四月福岡縣に於て檢舉せられ起訴留保其の後上京日鑛本部員と連絡成立昭和八年三月下旬常炭入山分會オルグとして縣下に潜入

本籍 福島縣双葉郡新山町石熊四四

全協、日鑛、常炭、磐城高坂坑分會オルグ

市村

政美

尋常小學校卒磐城炭礦高坂坑炭原炭礦小田小坂入

山探炭等の坑夫昭和七年三月常炭加盟

本籍 福島縣石城郡磐崎村藤原一一一

全協、日鑛常炭失業會責任者

大井川

基司

大正十五年三月縣立磐城中等學校卒昭和二年四月第

三高校入學昭和五年二月同校中途退學在學中社會科

學研究會行動隊に参加檢舉を受け退學處分昭和五

年五月歸郷常炭組織運動に参加

本籍 福島縣石城郡四倉町新町一五五

全協、日鑛、常炭磐城町田坑分會オルグ

佐藤

ヒロ

大正十四年三月縣立磐城高等女學校卒同年四月日

本女子大學入學昭和三年七月四年中退女子大在學

中社會科學研究會に加盟後女子大S.S責任者更に

學聯責任者となる昭和四年四月茨城縣日立製作所

事務員となり五年八月より全協日金支部組織運動

を起す五年十月二十日解雇

本籍 大正十四年三月縣立磐城高等女學校卒同年四月日

本女子大學入學昭和三年七月四年中退女子大在學

中社會科學研究會に加盟後女子大S.S責任者更に

學聯責任者となる昭和四年四月茨城縣日立製作所

事務員となり五年八月より全協日金支部組織運動

を起す五年十月二十日解雇

本籍 大正十四年三月縣立磐城高等女學校卒同年四月日

本女子大學入學昭和三年七月四年中退女子大在學

中社會科學研究會に加盟後女子大S.S責任者更に

學聯責任者となる昭和四年四月茨城縣日立製作所

事務員となり五年八月より全協日金支部組織運動

を起す五年十月二十日解雇

本籍 大正十四年三月縣立磐城高等女學校卒同年四月日

本女子大學入學昭和三年七月四年中退女子大在學

中社會科學研究會に加盟後女子大S.S責任者更に

失業者を糾合 村役場に闘争開始

秘かに共產黨の毒爪を伸ばす

オルグ星野の動勢

石城郡下の炭鑛地帯に於て一大労働争議の過程に於ては昭和二年の春勃發したる山代吉宗等の左翼闘士によ

り舊評議會系、磐城一般労働組合が結成せられ其の後組合の名稱を順次常警炭礦山労働者組合常警炭礦労働者組合常警炭礦労働組合と改稱し殆ど

繼續的に維持せられて来た、而して常警炭礦労働組合の幹部は昨年六月より内郷村の失業者を糾合して村役場及磐城炭礦會社に屢々デモを敢行し救済事業の開始政府米の廉價拂下交附ボタ炭拾ひ等に關する要求を突付け失業者の組織と闘争の指導等

活潑なる 行動を爲す

に至り全協日本鑛山労働組合本部も亦其の組織準備の進展に伴ひ常炭の組織確立を持に重要視して優秀なる本部員を常警炭礦のオルグとして派遣し來り常炭オルグは屢々日鑛本部との間を相來往して組織方針を決定し本年三月頃より本格的組織活動に進出せる模様であつた所轄平警署署は此の情勢を觀取し縣特高課と緊密なる連絡を保ち嚴重なる視察内偵を續けてゐる内湯本町入山探炭株式會社が豫てより其の動靜を注意してゐた同社の坑夫山田文雄を五月九日午後七時頃平署員に於て取調を爲したるに

日鑛本部 機關紙「鑛山労働者」を所持してゐる

ので同人を本置に引致し追及したるところ山田文雄とは假名であつて新潟縣長岡市表町出身長岡高等工業學

校應用化學科卒業後山口縣福岡縣等に於て全協組織の運動に活躍し本年三月末日鑛本部より入山分會オルグとして

湯本町に 派遣せられて居る星野篤當二十五年な

變裝檢索隊の活動に 秘密本部を轉々移動

柳行李に充滿した不隱文書 不眠不休の大檢舉

川のみは五月十七日頃秘かに歸來し婦人オルグ佐藤ヒロと共にアデト(秘密移動本部)を轉々移動し炭鑛地帯に潜伏して彈壓による被害の状況を調査しつゝある形跡が明瞭となつた

此の情報を得たる檢索隊員は勇躍し更ら二日夜文を通り不眠不休の活動を續けた後五月二十五日朝に至り平署川島警部補高松巡査の一隊が平町舊城跡二

十一番地の長屋に五月二十一日水戸市某製氷會社を襲首せられ就職の爲と稱し引越して居た男女が右小川、佐藤の兩名に匹敵する人物なる事を探知して此の旨を

捜査本部に急報した此の報告に接したる特高課長は即時佐久間警部以下署員數名と共に出動し兩名の隠家を包圍して佐久間警部川島警部補を先頭に前後より屋内に踏み込み小川、佐藤の兩名を逮捕し大型柳行李に充滿せる各種機關紙不隱文書の類を押収して引揚

げた(三面に續く)

裁縫教師に 化けて潜行運動

外廓的グループ迄も取調べ 全貌明かとなる

斯くて常磐炭礦労働組合の現在指導部員全部に悉く検査せられたのであるが引續き組合關係者を始め常炭の外廓的グループと認めらるる者等殆ど全部總員九十六名が順次召喚せられて峻厳なる

取調べを

受け其の内小川治雄、佐藤ヒロ、星野篤、市村政美、大井川基司の五名は引續き留置せられ

其の他の關係者は取調べの終了と共に夫々將來を嚴重訓戒せられ釋放された。かく多數の召喚取調べにより漸次

炭礦地帯

に於ける左翼運動の全貌が明かにされたる模様であつてそれによれば常磐炭礦労働組合は最近同地坑夫出身菊地壽一郎市村政美の兩人により主宰せられてゐたが昨年六月頃全協日礦本部より坂本某なる者オルグとして潜入し來り従來石城郡

四倉町の

自宅に於て常炭機關紙「導火線」其の他アデピラ等の印刷製を爲し菊地を援助し來たれる東京日本女子大學中途退學者佐藤ヒロを組合の指導部に加盟せしめ更に同年八月頃京都第三高等學校在學中

者と定め此等各坑に組合の分會を確立し

分會確立

の上は分會代表者會議を開催して會社に對する要求事項を協定し一齊にストライキを決定するの方針を樹て内郷村失業者の斗争は菊地、大井川の兩名に於て繼續指導することとなし此の方針の下に極めて巧妙なる潜行的活動を開始するに至つた斯くて

同志の者

は毎週一回内郷村又は湯本町の山林隧道内或は四・一六事件被告山代吉宗の留守宅等に於てオルグ會議を開催し市村、星野は變名を使用して坑夫に就勞し小川、佐藤の兩名は轉々秘密本部を移動して其の居所を秘し東京方面より

黨機關紙

「赤旗」全協機關紙「労働新聞」日礦本部機關紙「礦山労働者」等を毎號三十部乃至五十部を入手

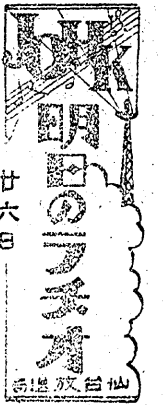
小學教員の 間にも潜入

巧みにアチる

常磐炭礦労働組合關係者の取調べにより好間小學校、平第三小學校教員二、三名が中心となり街頭分子數名と共に昨年七月頃より史的

唯物論の

研究を始め平町郊外の山林、好間村地の内の桃畑又は小學校教員の居室等に於いて十數回に亘り「史的唯物論教程」の輪讀研究を續行し又此等のメモ



今晩は南西の風晴曇半し明日は北西の風晴

今晩の部

- 後六〇〇(子供の時間) 長唄「綱目」和和田みのり
- 後六二五 講演「實業補習教育に就いて」文部省社會教育官千葉敬止
- 後七三〇 講演「ニユー東北帝大交響管絃樂團」獨唱
- 二高管絃樂團(獨唱) 佐藤

明日の部

- 春代(指揮)細戸史朗
- 後八三〇 歌澤「くせつ」
- ついで海原寺一唄歌澤寅由喜 三味線歌澤寅清子
- 後八四〇 義太夫「明鳥大花曙」淨るり豊竹國司
- 三味線豊澤小住
- 後九三〇 時報 ニュー氣象通報 番組預告

探査の大苦心

オルグ男女(小川)

逮捕の劇的場面

散々に平署を悩まして

街頭分子

の結集を輕視し—現在就勢中の炭礦労働者の組織に主力を集中するの方針を探るに至り右

地下に潜む最高オルグ檢舉には人知れぬ平署の異常な苦心がある

その一例として小川治雄、佐藤ヒロの兩名の如き散々に手を焼かせて平署を悩ました兩名の檢舉は別項の如く二晝一夜に至る不眠不休の努力の賜であつて逮捕の前日、廿四日は業を煮やした平署が平全町の大捜査を開始する事になり本町通りを中心し平町を二分して南方部をシラミ潰しに檢察したが獲物なく更に翌廿五日は國道以北

原田敬一「特別大演習を拜觀しての所感」瀨州國陸軍上將 干芷山

後六〇〇(子供の時間) 童謡と唱歌 仙臺市荒町小學校兒童(ピアノ併奏) 櫻井綾子(指揮) 佐藤實

後六二五 英語講座(三の二) 源馬次郎

後七三〇 長唄「鶴の榮」唄 芳村伊四郎外大勢

後七五五「良寛と子守」淨るり 常磐津松尾太夫 外大勢

後八四五 長唄「鉢かつき」唄 吉住小三郎外大勢

告したので俄然本部は色めき立ち捜査部員

總出動し—て完全に前記怪しい長屋の前夜を包圍し先づ川島警部補が本田、古山兩巡査と共に表口から突入り役場吏員の戸籍調べを装つた處後向きになつて

新聞を讀み耽つて居た傍らに寝轉んで居た男が「御苦勞さん」等と應答をしたが此の男が紛れもなくオルグ小川なる事を確め更らに女に話し掛けたが振り向かぬ儘で億劫氣に受け等をするので同行せる本田巡査が伸び上つて女の見る居た新聞を何気なく

引寄せ様—とした意思はず振り返つた。婦人オルグの佐藤ヒロ子。婦事判明—これでよと川島警部補は手を揚げて、外に待期中の一同に合點し、裏表の兩方口より機を逸せず捜査隊員が飛び込んだので流石の兩名も抵抗一つ出來ず捕はれの身となる等劇的な一幕を演じた

銘剣秘双録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第七十三回 血に飢ゆる村正

お化けならお断り

次郎左衛門は懐から百兩の金を出して萬屋の内儀お仲へ渡しました。今の百兩と違つて享保時代の百兩と申したら千兩にも向ひます位でございます。お仲は宜い鳥が引つ掛つたと思つたが斯ういふのは一遍に遣はせると懲りて了ふから成るたけデリノと生血を搾つてやらうと、いふ了簡な女でございます。

仲「マア旦那こんな大金は入りは致しません、漸々二十兩か三十兩も御散財をなさいますれば大したものでございます」
次「どうか恥かしくないやうに宜しく頼み申します。先づ預かつて置いて下さいまし」
仲「然らばお預かり申して置きます、何れ太夫衆も呼ばないとお座敷が淋しうございませうし藝者の四組も呼ぶやうに致ませう」
次「其邊は宜しくお願ひ申します」
と投げ出したのは假令田舎でも大金を扱つてゐる次郎左衛門ゆゑ汚い事は致しません、直に呼びました期間が萬屋の最負で都阿波太



の御敵娼を早く極めて置きたいねえ
阿「まだ極りませんかえ、夫は不都合だ、旦那は何れ御馴染がございませう」
次「ハイ私は馴染はないが

親父が何時ぞやの話しに江戸の吉原へ行つたら月岡の源久、江戸節の紋吉といふ者と呼んで廊の案内をさせると申した事がございます
仲「オヤ源久さんや紋吉さんが御馴染でございませうかそんなら直ぐに呼びにやませう」
と直ぐに若い者に口を掛けにやりましたは親父の次郎兵衛が絹屋を繼いでから後に江戸へ出て遊んだ時に幾らか目をかけてやつた事があるので二人は誠に次郎兵衛が恩人と思つて居る者でございます、生憎遠出でまだ廊へ歸つて居りませ

濟まされないので敵娼でございます
仲「旦那何ういふ花魁が宜うございませうか若いのに致しませうか年増衆が宜うございませうか」
次「ヘエ夫に少々望みがございませう先程家に居た花魁は何といふお方でございませう」
仲「ハイ家にお出でなすつたのは萬屋屋の八ッ橋と云ふいふ廊で一番の全盛でございます」
次「アノお方を呼んで貰ひ申したい」
仲「ヘエ、何でございますか八ッ橋花魁が氣に入りましたので、少し待つて下さいませう一寸相談を致しませう」
と阿波太夫丸善を次の間へ呼び
仲「何うしやうねえ大變な事が出来たよ」
阿「内儀さん宜いぢやア御座いませんか花魁の所へ持込みやア暫く足が留まりませう」
仲「私も然うしたいと思ふが先刻アノ大盡が行燈の蔭から八ッ橋さんに見惚れて顔を出した時に花魁が、アノ化物が出たと云つて癪を起した位だから迎も客にはしましと思ふよ」
善「然らば我儘な事を花魁がいつたら例の一條で板ばさみにして出さうぞやアございませんか、一寸見た所で五十や八十の金はキツト遣ふに相違ねえぞそんな鳥を逃がして堪るものか」
阿「然う、内儀さん例の

一條で花魁の方を拵へ様じやアございませんか
仲「そんなら阿波さん一寸手を貸してお呉れな」
阿「丸善お前は殘つて化物の機嫌を取るべし」
善「オット承知だい、夫ぢやア内儀さん行つてお出でなさい」
仲「店の者をやらないで私が行くとしやうねえ」
阿「お前さんが行かなくつちやア纏らねえ、サアお供を致しませう」
と萬のお仲、都阿波太夫の二人は萬屋屋の家へ参り八ッ橋の部屋へ来て見ると幸ひにまだ客もないと見えて部屋も開いて居ります
仲「花魁今晩は」
八「オヤ何しに來なんした」
仲「お客でございますが出て下さいませうか」
八「どんな人でございませう」
仲「テノ家へ初めて來たお方で佐野の大盡でお金は澤山ある人ですが是非花魁を呼んで呉れと申しますから出て下さいな」
八「今店へ往なんした時お化が出て怖うござんしたアノお化なら斷つて呉んなまし……」

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

磐城セメント會社特約店
久松屋商店
磐城平町五丁目 電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久松の生命なり

内科、小兒科、花柳病科
藤沼醫院
入院需應
平町紺屋町 電話五〇七番

秋……と……カメラ!!!
聞いて……見て……使つて驚く
M S カメラの輕便さ!!!
これでは誰にも良く撮れる筈です
題材豊かな行樂の秋……
今こそカメラ絶好のシーズン
どなたもぜひM S カメラで朗かに
平 驛 前
各種カメラ 特約店 **いづみや玩具店**
カメラ部

高久病院
院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五二三番